



春日部市役所本庁舎 耐震診断概要



所在地：春日部市中央六丁目2番地
竣工：昭和45年
構造：鉄筋コンクリート造
規模：地上 5階
塔屋 2階
地下 1階

延べ床面積： 8,731.428m²
塔屋2階 141.800m²
塔屋1階 108.562m²
5階 1,034.070m²
4階 1,034.070m²
3階 1,184.295m²
2階 1,827.692m²
1階 2,636.205m²
地下1階 764.734m²

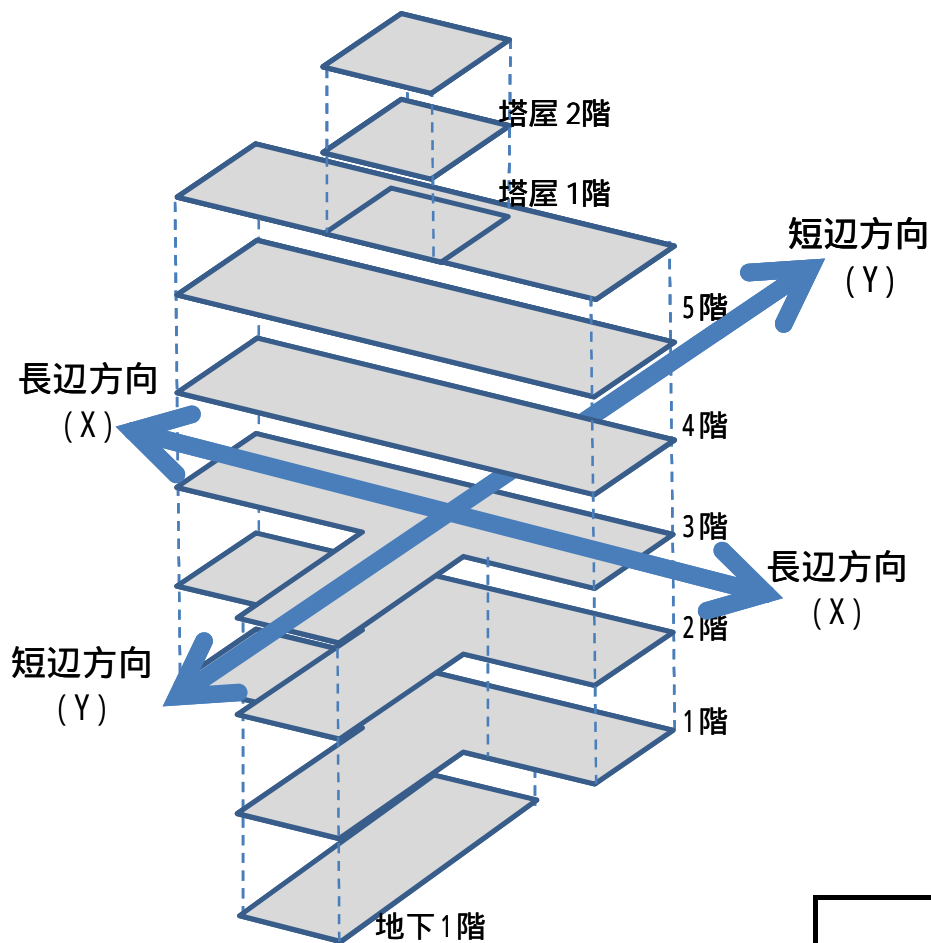
建築面積： 2,876.651m²

敷地面積： 14,267.21 m²

春日部市役所本庁舎 第3次耐震診断

最終報告

庁舎概念図



庁舎概要

構造、階数	鉄筋コンクリート造、地上5階、地下1階
建築年	昭和45年（築41年）
延床面積	8,731.428㎡

耐震診断 概要 最小値を示す

Is値	長辺方向 (X)	短辺方向 (Y)
塔屋2階	0.48	0.51
塔屋1階	0.24	0.28
5階	0.33	0.28
4階	0.21	0.27
3階	0.24	0.33
2階	0.26	0.43
1階	0.45	0.52
地下1階	0.80	0.78

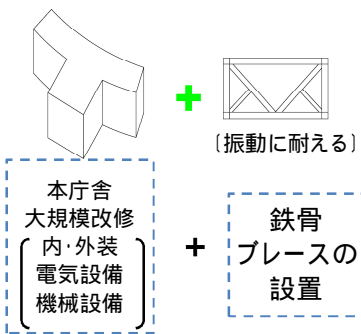
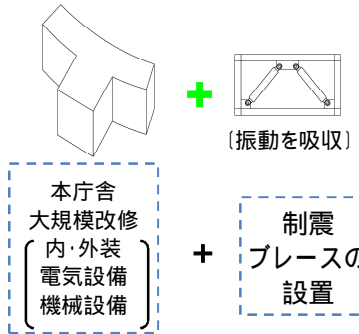
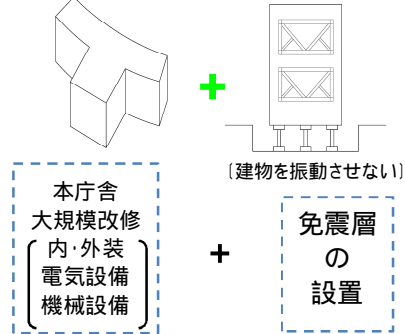
Is値とは	0.6以上	地震の震動や衝撃に対して倒壊し、また崩壊する危険性が低い
	0.6未満	地震の震動や衝撃に対して倒壊し、また崩壊する危険性がある
	0.3未満	地震の震動や衝撃に対して倒壊し、また崩壊する危険性が高い

国土交通省告示 平成18年1月25日 第184号 別表第6

本庁舎耐震改修等における工事比較表（概算）

耐震 安全性の 分類	目標IS値	対象施設
	0.9	庁舎、拠点病院等
	0.75	学校、福祉施設等
	0.6	一般建築物

旧建設大臣官房官庁営繕部 官庁施設の総合耐震計画基準

	鉄骨ブレース工法	制震工法	免震 + 鉄骨ブレース工法
目標IS値	0.75	0.75	0.9 (同等)
耐震補強工事	7億円	10億円	38億円
大規模改修 (延命化)	18億円	18億円	20億円
合計	25億円	28億円	58億円
耐用年数(60年)	15年 <small>〔平成27年度に 工事完了の場合〕</small>	15年 <small>〔平成27年度に 工事完了の場合〕</small>	15年 <small>〔平成27年度に 工事完了の場合〕</small>
耐用年数 1年あたりのコスト	1.7億円/年	1.9億円/年	3.9億円/年
イメージ図			
課題	<p>工期中、仮移転が必要になる 工事後、執務室の面積が大幅に減少するため、増床が必要である</p> <p>15年後、 新庁舎建設が必要になる</p>	<p>工期中、仮移転が必要になる 工事後、執務室の面積が大幅に減少するため、増床が必要である</p> <p>15年後、 新庁舎建設が必要になる</p>	<p>工期中、仮移転が必要になる 工事後、執務室の面積が減少するため、増床が必要である</p> <p>15年後、 新庁舎建設が必要になる</p>
備考	1) 上記事業費に工事費以外の設計費・仮移転費・用地費等は含まれておりません		

本庁舎大規模改修(延命化)に係わる工事

1. 建物診断の所見

早急な更新工事が必要な状況である

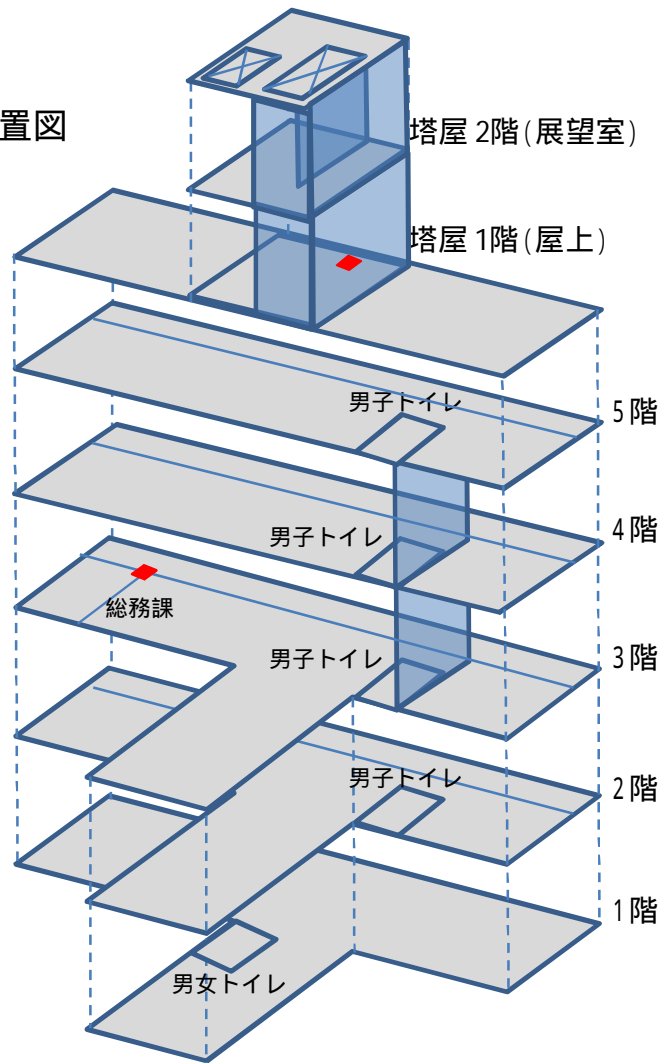
- (1) 屋上防水面や内部仕上げに改修の形跡が見られるが、経年に伴う劣化や汚れが散見される
- (2) 外壁タイルや仕上げモルタルの剥落、内部壁のひび割れが散見される
- (3) 外壁タイルの引張試験の結果、試験前に落下した箇所が一部ある
- (4) 設備関係は、いずれも定期点検や更新がなされているが、目視した限りにおいて一部劣化が見受けられる
- (5) 給水管においては腐食・錆瘤が顕著に見られ、閉塞にこそ至っていないが赤水や漏水、配管亀裂・折損の懸念がある
- (6) 各階污水管においては、勾配不良による汚水の滞留や閉塞が生じており、トイレ内の排水口や掃除口においても、錆や汚物の堆積による閉塞箇所が多くみられる
- (7) 各所、部分的な更新はあるものの系統の改善には至っておらず、全体的な劣化状況も含め終期劣化状態と言わざるを得ない。早急な改善計画と更新工事が必要な状況である

2. 更新工事の内容

- (1) 仕上工事
屋上防水、外壁仕上、内装の改修
- (2) 電気設備工事
各部配線系統、照明等の改修
- (3) 衛生設備工事
汚水・雑排水管、給水管の改修
- (4) 空調設備工事
換気設備・エアコンの配管及び機器の改修
- (5) 昇降機工事
エレベーター機器類の改修
- (6) 部分的な解体工事
上記改修工事にかかる部位の解体工事

春日部市役所本庁舎応急補修工事 概要

工事位置図



目的

東日本大震災により破損した、耐力壁及び柱の補修を行うとともに破損の原因となった塔屋の耐震化を図るものです

工事概要

塔屋 耐震化

屋上設備の軽減化・・・高架タンク、冷却塔の取換え
耐力壁の増設・・・鉄筋コンクリート造の壁を増設
壁の補修・・・破損部にエポキシ樹脂の注入
柱の補修・・・破損部に無収縮モルタルの注入

4階 補修

耐力壁の補修・・・破損部にエポキシ樹脂の注入

3階 補修

耐力壁の補修・・・破損部にエポキシ樹脂の注入
柱の補修・・・破損部に無収縮モルタルの注入

各階 耐震化

腰壁に耐震スリットを設置・・・柱と雑壁の縁を切る

契約額

47,880,000円(税込)

工期

H24年2月16日から 9月28日 (約8ヶ月間)

塔屋以外は閉庁日工事とする